

「第77回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

➤開催日時：令和5年12月13日（水）14時00分～15時10分

➤出席人数：会場11人（欠席8人） 傍聴：3人

1 予約受付・配車システムの検討状況について（報告）

資料1について公共交通課から説明

- ・予約受付・配車システムの選定については、11月にコンサルタント事業者が、南西部地域におけるデマンド型交通の運行システムの要件を満たした10社に選定し、この中から更に市が導入実績などを考慮して5社に絞り込んだ。
- ・5社へヒアリングを行い、2、3社へ絞る予定であり、最終的には、運行事業者が1社に決定する。
- ・絞り込んだポイントとして、経費については予算の範囲内であること、高齢者の利用が多いことから、シンプルで分かりやすい操作で予約ができること、南西部地域と同様の地域での導入実績があることを重視した。
- ・12月11日（月）に、2社のヒアリングを行った。考える会の方も参加していただいたので、感想をお聞きしたい。

感想等

- ・感じたことは3つあって、一つ目はシステム事業者が、南西部地域の実情をどこまで熟知しているのかということ。二つ目は2社の費用の差が大きく、B社は基本金額は安いプラスの費用が掛かってくる点を危惧している。三つめは予約するには、スマートフォンのアプリを使うことから、スマートフォンの操作ができないと難しいので、どこまで浸透できるのかということである。
- ・実際の道路交通事情をどこまでシステムに反映できるのか不明確だった。
- ・2社とも南西部地域の実情については、ほとんど調べていないように感じられた。南西部地域の周辺にはB社の関連店舗が3件あり、スマートフォンアプリの使い方のレクチャーへの対応は可能とのことから、B社の方が優性と感じた。
- ・2社とも考える会でまとめた方向性を踏まえた説明になっていなかった。
- ・A社は、利用者登録の方法についての説明がなかった。また、乗降場所をバーチャルポイントとして設定することだが、実際に場所が分かるのか不安である。また、アプリの地図に、乗降場所が表示されないことが気になった。
- ・実績の説明が外国の事例だったので、もっと小平市の地域性を考慮した説明をして欲しい。
- ・B社はシェア率が高いので、なじみがあり安心できる。
- ・（公共交通課）12月14日（木）は、13時から3社のヒアリングを行うので、時間のあ
る方は是非、参加していただきたい。
- ・11月の市議会において、南西部地域の話があったか。
→（公共交通課）南西部地域において、令和6年6月からデマンド型交通の実証実験を行うための準備を進めていくために必要な債務負担行為設定の議案を提出した。

2 デマンド型交通の実証実験運行に向けた準備について（検討）

（1）デマンド型交通の名称

資料2について公共交通課から説明

- ・市の内部で検討した結果、愛称については、実証実験運行の結果、継続運行へ移行した際に考えることとなった。そのため、皆さんからご意見があったように「デマンド型交通」ではなく、分かりやすい事業名称を考えていきたいと思う。
- ・全国で実施しているデマンド型交通について、事業名称と愛称をまとめたので、この資料2を参考にして事業名称について検討していただきたい。

質疑

- ・国土交通省などでは、標準的な言い方があるのか。
→（公共交通課）一般的には、「デマンド型交通」と呼ばれている。
- ・（座長）「タクシー」というワードは入れた方が良いのでは。
- ・国立市の事例の「国立市予約型乗合タクシー」のように、事業名称から一目で、実施場所や事業内容が分かるように付けてはどうか。
- ・事業名称を聞いて、地域と利用方法が分かる名称が良い。
- ・デマンドという言葉は使わない方が良い。コミュニティタクシーの代わりになるものだから、「コミュニティタクシー」という言葉は入れて欲しい。愛称の話になるが、「ぶるべー」というワードは入れて欲しい。
- ・乗合いをするという、使い方が分かる名称が良い。
- ・「相乗り」という言葉は嫌がるので、「乗合い」でどうか。
- ・「乗合タクシー」はデマンド型交通とは別の事業形態として既にあるので、南西部地域で実施するものとは、違いが分かるようにしなければならない。
- ・「乗合」、「予約」、「定額」、「タクシー」などのキーワードを組み合わせで名称を考え、候補を挙げてみてはどうか。
- ・「小平南西部地域乗合タクシー(定額予約制)」か、「小平南西部地域定額予約乗合タクシー」でどうか。
→多くの賛同により「小平南西部地域乗合タクシー(定額予約制)」に決定する。
- ・分かりやすくするため、チラシや、車体に貼るマグネットの表記については、1段目を「小平南西部地域乗合タクシー」、2段目を「定額予約制」の2段書きとし、「定額予約制」には括弧を付けない。
- ・（全員）承認

（2）周知・PR方法

- ・（座長）実証実験の実施に向けた周知・PR方法として、一般的に市報や市ホームページ、チラシ、公共施設へのポスターの掲示などが考えられるが、方法について意見はあるか。
- ・令和6年3月31日（日）の10時から、白梅北自治会の総会があるので、そこで南西部地域でのデマンド型交通の実証実験運行について、職員に説明して欲しい。自治会員の約7割が参加するので、周知するには良い機会と考える。自治会が主導して進めていくことが大切である。そこで配布するチラシには2次元バーコードを付け、アプリに繋がるようにすると良い。
→（公共交通課）出席できるよう調整する。

- ・「小平南西地域ににじバス・コミタクを走らせる会」では、会員に対してデマンド型交通の実証実験運行に向けた検討の進捗状況について、会報を出して報告する予定である。
- （公共交通課）会報を出して地域の方の関心度を高めていくことは大切である。考える会での検討状況や、令和6年6月から実証実験運行を実施することなどについて、記載していただければと考えている。
- ・予約受付・配車システムの選定のスケジュールは。
- （公共交通課）今週中に5社ヒアリングを実施し、それを踏まえ令和6年1月上旬に、2、3社に絞り込む予定である。その中から今年度中には、運行事業者が1社に選定する。
- ・（公共交通課）デマンド型交通の周知・PRする場として、地域の方が集まる機会があり、日程調整が可能であれば市も参加するので、早めに教えていただきたい。

3 その他

(1) 参加団体からの情報提供

白梅学園短期大学から

- ①「子どもの人権について考える」（中央公民館主催、憲法講座）について紹介
- ②「小平西にきずな」（小平西地区地域ネットワーク ニュースNo.48）について紹介

【今後の予定】

第78回 令和6年1月10日（水）14時～ 小川公民館 ホール

今回、決まったこと

デマンド型交通の名称：「小平南西部地域乗合タクシー（定額予約制）」

※チラシや車両に貼るマグネットの表記については以下の通りとする。

小平南西部地域乗合タクシー

定額予約制

次回は、

- ・第2回目の予約・配車システム事業者のヒアリング内容の報告
- ・デマンド型交通の実証実験運行に当たっての、目標値についての考え方や設定についての検討